

1 食肉流通の動向

(1) 肉豚

ア 豚のと畜頭数

豚のと畜頭数は1,677万6千頭で、前年に比べ2.3%増加した。(図1、表1)

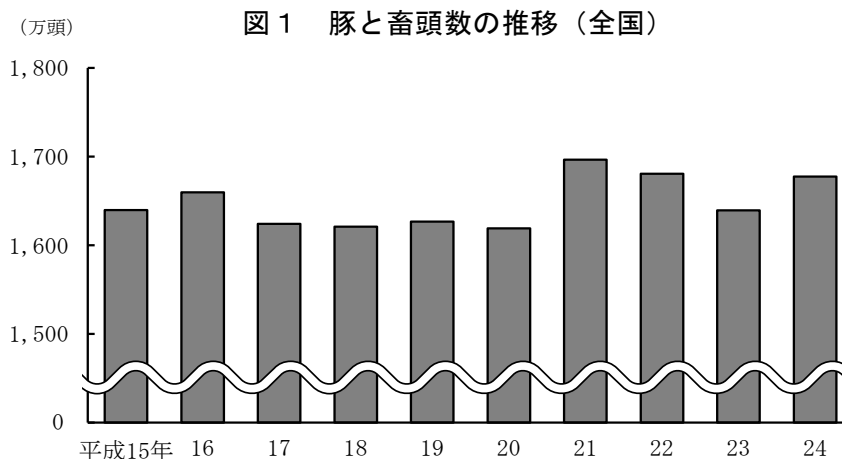


表1 豚と畜頭数の推移(全国)

区分	単位	平成15年	16	17	18	19	20	21	22	23	24
実数	千頭	16,396	16,596	16,243	16,210	16,268	16,192	16,966	16,807	16,395	16,776
対前年比	%	101.3	101.2	97.9	99.8	100.4	99.5	104.8	99.1	97.5	102.3

注: 対前年比は、原数(Ⅱ統計表における表章単位)より算出している(以下各表において同じ。)

イ 取引成立頭数

全国のと畜頭数に占める食肉卸売市場取引成立頭数の割合は13.1%で、前年に比べ0.1ポイント低下した。(表2)

また、食肉卸売市場(中央卸売市場10、指定市場18)における豚肉の取引成立頭数は220万2千頭で、前年に比べ1.9%増加した。市場別では、中央卸売市場が91万7千頭、指定市場が128万6千頭で前年に比べそれぞれ0.7%、2.8%増加した。(表3)

表2 肉豚の全国と畜頭数に占める食肉卸売市場取引成立頭数

区分	全国と畜頭数		割合
	千頭	千頭	
平成23年	16,395	2,161	13.2
24	16,776	2,202	13.1

表3 食肉卸売市場の豚肉の取引成立頭数

区分	単位	計	中央卸売市場	指定市場
平成23年	千頭	2,161	910	1,251
24	〃	2,202	917	1,286
対前年比	%	101.9	100.7	102.8

ウ 豚肉の卸売価格（1kg当たり平均価格）

食肉卸売市場（中央卸売市場10、指定市場18）における豚肉の規格別卸売価格は、「極上」が508円、「上」が442円、「省令」が442円、「中」が412円、「並」が372円及び「等外」が273円で、前年に比べそれぞれ4.0%、5.8%、5.8%、7.2%、8.8%、11.1%低下した。（表4）

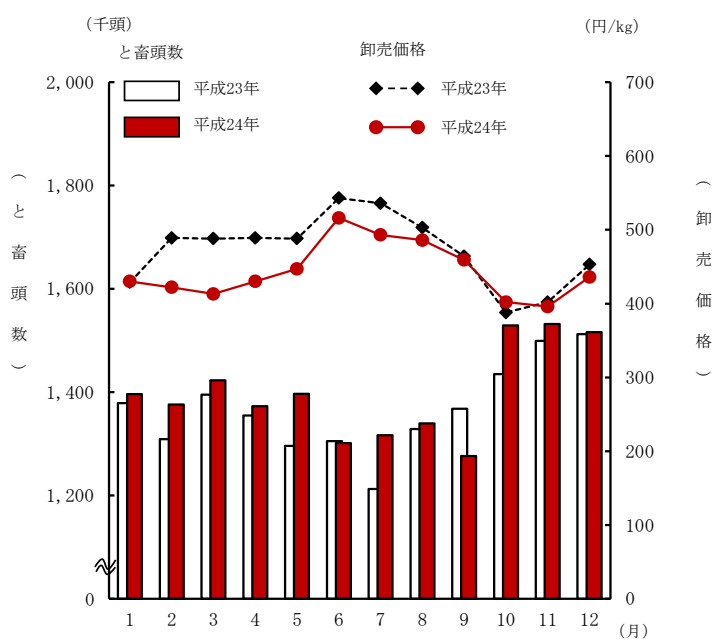
また、月別の卸売価格は、1月と10月は前年を上回ったものの、その他の月は前年を下回って推移した。（図2）

表4 豚肉の規格別卸売価格

区分	単位	極上	上	1)省令	中	並	等外
平成23年	円/kg	529	469	469	444	408	307
24	〃	508	442	442	412	372	273
対前年比	%	96.0	94.2	94.2	92.8	91.2	88.9

注：1)豚の「省令」については、「極上」、「上」を合わせたものである。

図2 肉豚の月別と畜頭数及び卸売価格（省令）（全国）



(2) 肉牛

ア 成牛のと畜頭数

成牛のと畜頭数は119万1千頭で、前年に比べ2.1%増加した。

このうち、和牛は54万頭、乳牛は41万1千頭、交雑牛は22万5千頭で、前年に比べそれぞれ4.3%、0.3%、1.1%増加したが、その他の牛は1万5千頭で、前年に比べ6.6%減少した。

成牛の種類別と畜頭数の構成割合をみると、和牛は45.3%で、前年に比べ0.9ポイント上昇したが、乳牛は34.5%、交雑牛は18.9%、その他の牛は1.3%で、前年に比べそれぞれ0.7ポイント、0.2ポイント、0.1ポイント低下した。（図3、表5）

図3 成牛の種類別と畜頭数の推移（全国）

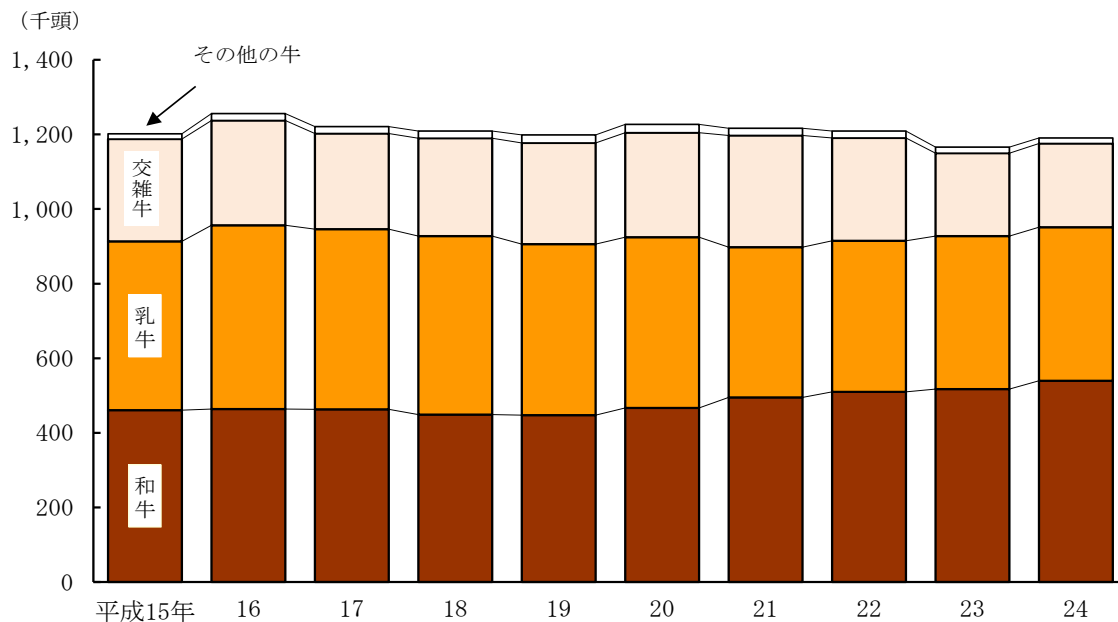


表5 成牛の種類別と畜頭数の推移（全国）

区分	単位	平成15年	16	17	18	19	20	21	22	23	24
と畜頭数											
成牛計	千頭	1,202	1,256	1,221	1,209	1,199	1,227	1,217	1,209	1,166	1,191
和牛	〃	461	464	463	449	448	467	495	510	518	540
乳牛	〃	452	492	483	478	458	458	403	405	410	411
交雑牛	〃	274	281	256	262	271	280	299	276	222	225
その他の牛	〃	14	18	19	19	22	22	20	18	16	15
対前年比											
成牛計	%	95.2	104.5	97.2	99.0	99.2	102.3	99.2	99.4	96.4	102.1
和牛	〃	87.5	100.6	99.7	97.1	99.6	104.3	105.9	103.1	101.5	104.3
乳牛	〃	109.4	108.9	98.1	99.0	95.8	99.9	88.1	100.4	101.3	100.3
交雑牛	〃	88.7	102.4	91.1	102.4	103.3	103.3	107.0	92.2	80.6	101.1
その他の牛	〃	104.2	129.1	102.5	102.4	114.6	101.0	88.9	92.9	86.9	93.4
構成比											
成牛計	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
和牛	〃	38.4	37.0	37.9	37.2	37.3	38.1	40.7	42.2	44.4	45.3
乳牛	〃	37.6	39.2	39.6	39.6	38.2	37.3	33.1	33.5	35.2	34.5
交雑牛	〃	22.8	22.4	21.0	21.7	22.6	22.8	24.6	22.8	19.1	18.9
その他の牛	〃	1.2	1.5	1.5	1.6	1.8	1.8	1.6	1.5	1.4	1.3

注：1 割合の計が100%にならないのは、四捨五入によるものである（以下各表において同じ。）。

2 構成比は、原数（Ⅱ統計表における表章単位）より算出している（以下各表において同じ。）。

イ 取引成立頭数

全国のと畜頭数に占める食肉卸売市場取引成立頭数の割合は35.2%で、前年に比べ0.9ポイント上昇した。（表6）

また、食肉卸売市場（中央卸売市場10、指定市場18）における成牛の取引成立頭数は42万頭で、前年に比べ4.9%増加した。

市場別では、中央卸売市場は31万1千頭、指定市場が10万9千頭で前年に比べそれぞれ5.0%、4.7%増加し、畜種別では、和牛は23万1千頭、乳牛は7万5千頭、交雑牛は11万2千頭で、前年に比べそれぞれ7.4%、4.1%、0.8%増加したが、その他の牛は2千頭で、前年に比べ6.0%減少した。（表7）

表6 成牛の全国と畜頭数に占める食肉卸売市場取引成立頭数

年次	全国と畜頭数		割合
	千頭	千頭	
平成23年	1,166	400	34.3
24	1,191	420	35.2

表7 食肉卸売市場の成牛の取引成立頭数

区分	単位	計	市場別		畜種別			
			中央卸売市場	指定市場	和牛	乳牛	交雑牛	その他の牛
平成23年	千頭	400	296	104	215	72	111	2
24	〃	420	311	109	231	75	112	2
対前年比	%	104.9	105.0	104.7	107.4	104.1	100.8	94.0

ウ 牛肉の卸売価格（1kg当たり平均価格）

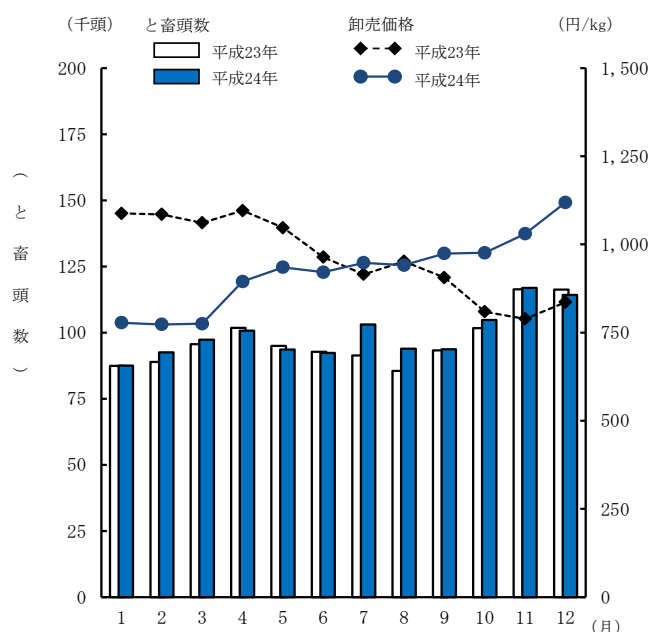
食肉卸売市場（中央卸売市場10、指定市場18）における成牛の規格別卸売価格は、「A-5」、「A-4」、「A-3」、「A-2」及び「C-4」規格が前年を上回ったものの、その他の規格は前年を下回った。（表8）

また、月別の卸売価格は、2月以降上昇傾向で推移している。（図4）

表8 成牛の規格別卸売価格

区分	単位	A-5	A-4	A-3	A-2	A-1	B-5	B-4	B-3	B-2	B-1	C-5	C-4	C-3	C-2	C-1
平成23年	円/kg	2,026	1,636	1,379	1,084	775	1,782	1,360	1,148	843	521	1,335	1,147	1,003	617	349
24	〃	2,073	1,704	1,461	1,091	609	1,763	1,359	1,136	810	481	1,276	1,148	989	577	296
対前年比	%	102.3	104.2	105.9	100.6	78.6	98.9	99.9	99.0	96.1	92.3	95.6	100.1	98.6	93.5	84.8

図4 成牛の月別と畜頭数及び卸売価格（省令）（全国）



(3) と畜場数

豚及び成牛のと畜頭数規模別と畜場数及びと畜頭数をみると、豚を処理したと畜場数は162場、と畜頭数は1,677万6千頭であった。これをと畜頭数規模別にみると、10万頭以上のと畜場数は67場、と畜頭数は1,362万4千頭で、全体に占める構成割合はそれぞれ41.4%、81.2%であった。

また、成牛を処理したと畜場数は144場、と畜頭数は119万1千頭であった。これをと畜頭数規模別にみると、1万頭以上のと畜場数は43場、と畜頭数は81万7千頭で、全体に占める構成割合はそれぞれ29.9%、68.6%であった。（表9）

表9 と畜頭数規模別と畜場数及びと畜頭数（全国）

区分	単位	豚					成牛				
		計	19,999頭以下	20,000～49,999	50,000～99,999	10万頭以上	計	999頭以上	1,000～4,999	5,000～9,999	10,000頭以上
と畜場数 平成23年	場	165	44	27	27	67	148	30	39	38	41
24	〃	162	41	25	29	67	144	28	36	37	43
構成比 平成23年	%	100.0	26.7	16.4	16.4	40.6	100.0	20.3	26.4	25.7	27.7
24	〃	100.0	25.3	15.4	17.9	41.4	100.0	19.4	25.0	25.7	29.9
と畜頭数 平成23年	千頭	16,395	171	950	2,050	13,225	1,166	7	113	276	769
24	〃	16,776	143	818	2,191	13,624	1,191	8	104	262	817
構成比 平成23年	%	100.0	1.0	5.8	12.5	80.7	100.0	0.6	9.7	23.7	66.0
24	〃	100.0	0.9	4.9	13.1	81.2	100.0	0.7	8.7	22.0	68.6

注：当該畜種を処理したと畜場のみの集計値である。

2 鶏卵流通の動向

(1) 生産量

平成24年の鶏卵生産量は250万7千tで、前年に比べ1.0%増加した。

都道府県別の構成割合をみると、茨城県が7.9%と最も高く、次いで千葉県が7.1%、鹿児島県が6.7%、広島県が5.0%、岡山県が4.9%の順となっている。（図5、表10）

図5 鶏卵生産量の推移（全国）

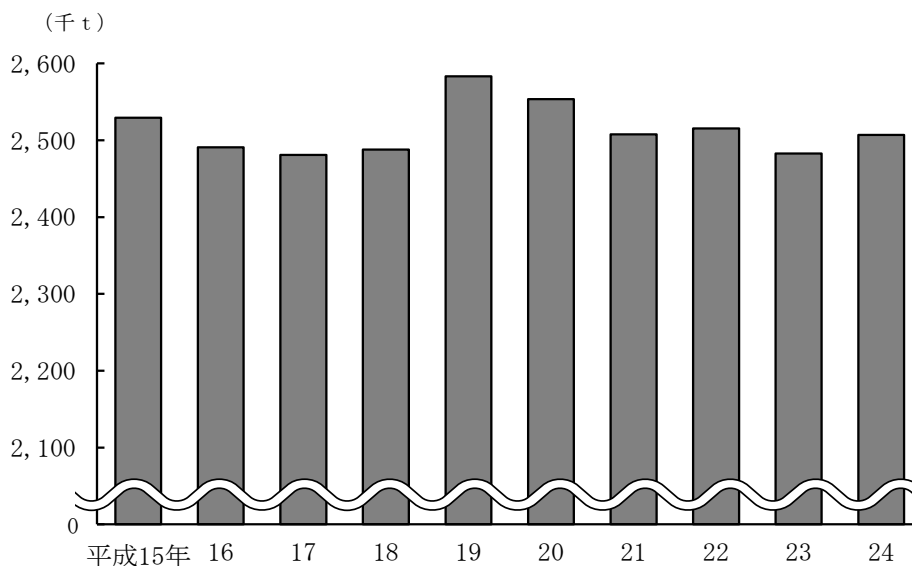


表10 鶏卵生産量（全国及び上位10都道府県）

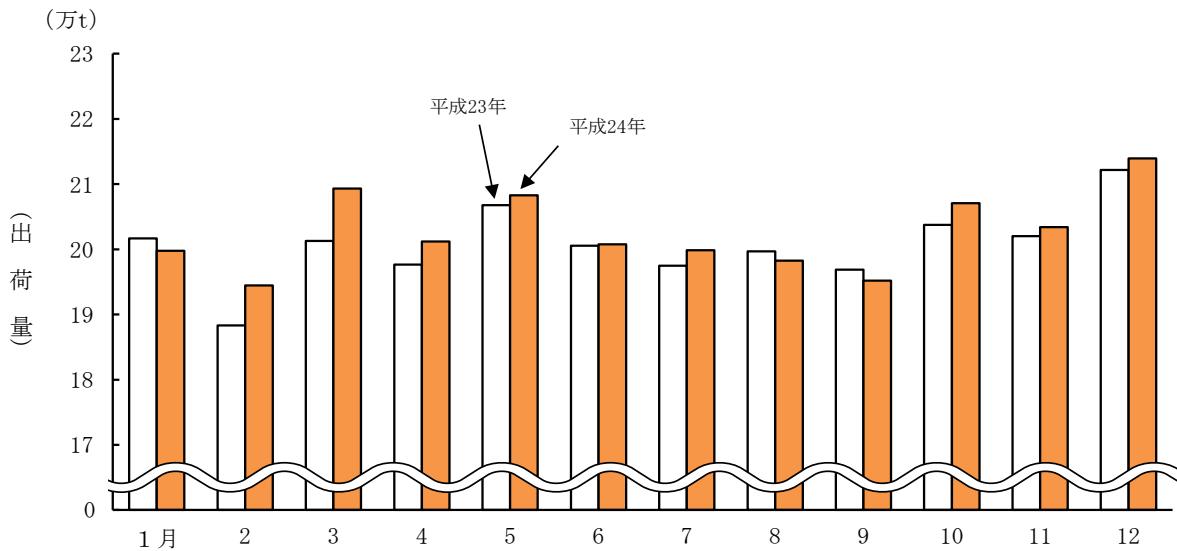
区 分	実 数		対前年比	平成24年 構 成 比
	平成23年	24		
	千t	千t	%	%
全 国 計	2,483	2,507	101.0	100.0
茨 城	188	197	104.8	7.9
千 葉	184	178	97.0	7.1
鹿 児 島	169	168	99.3	6.7
広 島	121	125	102.7	5.0
岡 山	118	122	103.4	4.9
愛 知	102	108	106.0	4.3
北 海 道	104	106	101.6	4.2
新 潟	102	101	98.6	4.0
青 森	90	92	102.8	3.7
岩 手	80	83	103.9	3.3
そ の 他	1,223	1,225	100.2	48.9

(2) 出荷量

平成24年の鶏卵出荷量は243万2千tで、前年に比べ1.0%増加した。

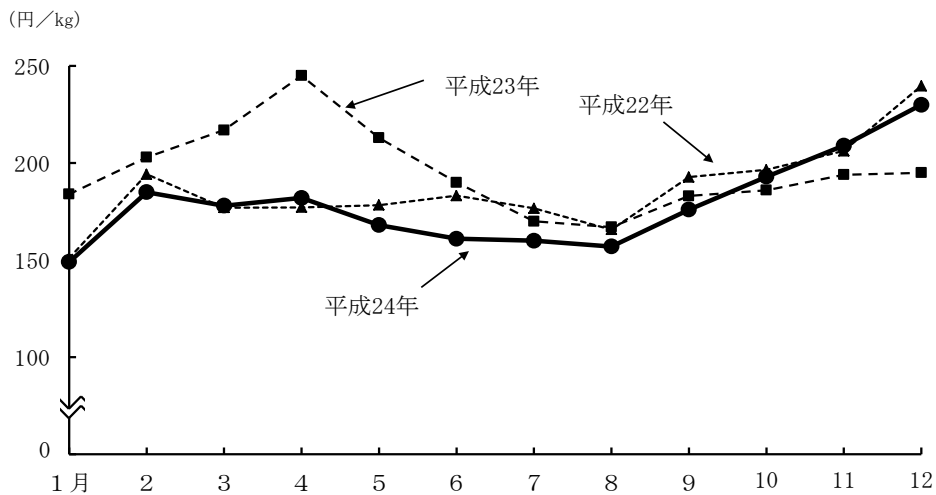
鶏卵の月別出荷量は、1月、8月、9月は前年を下回ったものの、その他の月は前年を上回って推移した。(図6)

図6 鶏卵の月別出荷量(全国)



(参考) 卸売価格(鶏卵市況情報)

図7 鶏卵の月別卸売価格の推移
(東京全農系、M規格、中値)



3 食鳥流通の動向

(1) 処理量

全国の処理羽数は肉用若鶏が6億4,962万9千羽、廃鶏が9,065万6千羽、その他の肉用鶏が823万1千羽で、前年に比べそれぞれ5.3%、2.0%、2.8%増加した。

全国の処理重量は肉用若鶏が188万9,158 t、廃鶏が15万9,691 t、その他の肉用鶏が2万6,021 tで、前年に比べそれぞれ5.9%、3.7%、4.5%増加した。(表11)

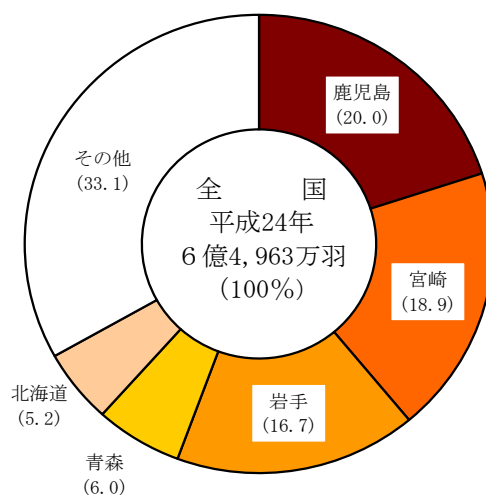
表11 食鳥処理量(全国)

区 分	単位	食鳥の種類		
		肉 用 若 鶏	廃 鶏	そ の 他 の 肉 用 鶏
処理量(生体)羽数				
平成23年	千羽	617,176	88,879	8,006
24	〃	649,629	90,656	8,231
対前年比	%	105.3	102.0	102.8
処理量(生体)重量				
平成23年	t	1,783,393	154,004	24,901
24	〃	1,889,158	159,691	26,021
対前年比	%	105.9	103.7	104.5

ア 肉用若鶏

都道府県別の出荷羽数割合をみると、鹿児島県が20.0%と最も高く、次いで宮崎県が18.9%、岩手県が16.7%の順となっており、上位3県で全国の約6割を占めている。(図8)

図8 肉用若鶏の都道府県別出荷羽数割合

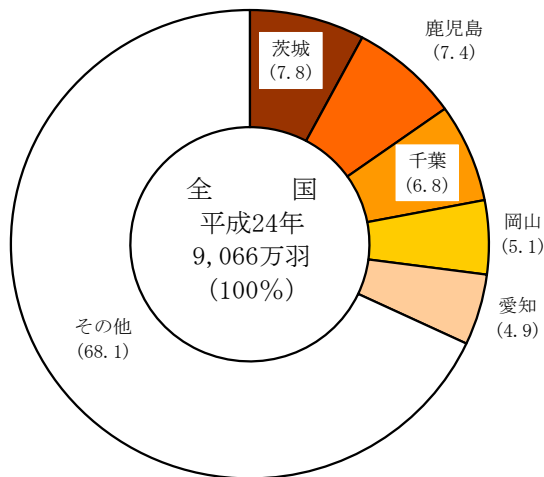


注：割合の計が100%にならないのは、四捨五入によるものである。

イ 廃鶏

都道府県別の出荷羽数割合をみると、茨城県が7.8%と最も高く、次いで鹿児島県が7.4%、千葉県が6.8%、岡山県が5.1%、愛知県が4.9%の順となっており、上位5県で全国の約3割を占めている。（図9）

図9 廃鶏の都道府県別出荷羽数割合

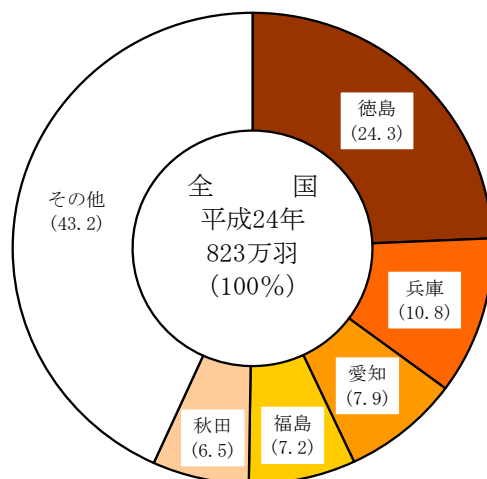


注：割合の計が100%にならないのは、四捨五入によるものである。

ウ その他の肉用鶏（ふ化後3か月齢以上）

都道府県別の出荷羽数割合をみると、徳島県が24.3%と最も高く、次いで兵庫県が10.8%、愛知県が7.9%、福島県が7.2%の順となっており、上位5県で全国の約6割を占めている。（図10）

図10 その他の肉用鶏の都道府県別出荷羽数割合

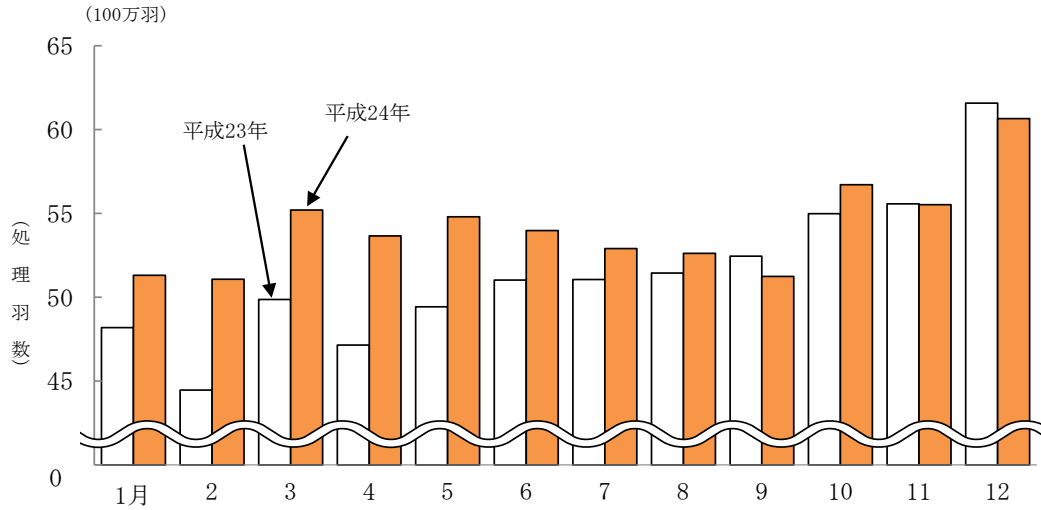


注：割合の計が100%にならないのは、四捨五入によるものである。

(2) 肉用若鶏の月別処理羽数

肉用若鶏の月別処理羽数は、1月から8月まで東日本大震災や鳥インフルエンザの影響により少なかった前年を上回って推移し、特に2月から5月は前年を大きく上回った。(図11)

図11 肉用若鶏の月別処理羽数（全国）



(参考) 卸売価格（食鳥市況情報）

図12 ブロイラーの月別卸売価格
（東京、中値、もも肉）の推移

